

序

添田町は、福岡県の東南端の大分県境に位置し、豊かな自然に囲まれた地域で、その雄大な自然を代表して、国定公園に選定されている英彦山があります。英彦山には貴重な動植物が生息するとともに、古来より多くの人々の信仰を集め、西国一の修験道霊山として、山伏たちが生活していた坊舎や修行を行なった窟、堂跡などが残っています。

これらの修験道遺跡が存在する英彦山は、我が国の修験・仏教・神道の信仰の在り方を考える上で重要であることから、平成 29(2017)年 2 月 9 日に国の史跡指定を受けました。

本町では、この貴重な国民共有の文化遺産を後世へ確実に継承するため、史跡英彦山保存活用計画書を策定しました。本計画書は史跡英彦山の価値と構成を整理し、その価値を損なわいよう、保存活用に関する方針などを定め、今後の適切な保護を推進するためのものです。本計画書を通じて、史跡英彦山の価値や保存活用の在り方を周知理解していただければ幸甚です。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご尽力いただきました史跡英彦山保存活用計画策定委員会委員の皆様をはじめ、ご指導・ご協力を賜りました方々、および関係機関に対しまして、心から感謝いたします。

平成 31 年 3 月
添田町長 寺西 明男